

平成26年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

(質問日：平成26年6月18日)

(代表・一般)

部(局・庁)・課(室)名 健康福祉部 保険指導課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>3. 社会保障について</p> <p>(1) 介護保険について</p> <p>ア 介護保険で要支援を介護給付の対象から外そうとしており、県内で、ヘルパーとデイサービスの利用者それぞれ約1万3000人が排除されることになるが、知事はその影響についてどう認識しているのか。</p>	<p>1 要支援者の訪問介護・通所介護については、全国一律の定型的な予防給付から、市町村が地域の実情に応じて実施する地域支援事業へと平成29年4月までに移行することが予定されています。</p> <p>2 これにより利用者は、既存の介護事業所によるサービスに加えて、NPOやボランティアなどの多様な主体から、これまで利用できなかった通院の介助や買い物などのサービスをうけることができるようになります。</p>	<p>健康福祉部長 中岡 靖</p>

平成26年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

(質問日：平成26年6月18日)

(代表・一般)

部(局・庁)・課(室)名 健康福祉部 保険指導課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>3. 社会保障について</p> <p>(1) 介護保険について</p> <p>イ 介護事業者への影響についての認識はどうか。</p>	<p>1 この見直しが行われた場合は、要支援者に対しては、NPO、ボランティアなどを含めた様々な事業主体が、サービスの提供者になります。</p> <p>2 一方で、訪問介護員などによる専門的なサービスを必要とする場合や、NPO、ボランティアなどの担い手がいない地域においては、これまでどおり既存の介護事業所によりサービスを実施してもらうこととなります。</p>	<p>健康福祉部長 中岡 靖</p>

平成26年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

(質問日：平成26年6月18日)

(代表・一般)

部(局・庁)・課(室)名 健康福祉部 保険指導課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>3. 社会保障について</p> <p>(1) 介護保険について</p> <p>ウ 要介護1と2の人は特別養護老人ホームに入れなくなり、ますます深刻な事態が広がるのは明らかだと思うが、県として考えはどうか。</p>	<p>1 特別養護老人ホームについては、入所を望む重度の要介護者が多数いることを踏まえ、在宅生活が困難である要介護3以上の、いわゆる中重度の要介護者を支える施設として機能の重点化が図られる見込みです。</p> <p>2 なお、要介護1や2であっても、やむを得ない事情により、特別養護老人ホーム以外での生活が困難な場合においては、市町村の適切な関与の下、特例的に入所できることとしております。</p> <p>3 今後国において、特例入所の具体的な要件や入所判定手続きの詳細を定めた具体的な指針案を示すこととしており、県としては、適切に運用されるよう市町村等に情報提供してまいります。</p>	<p>健康福祉部長 中岡 靖</p>

平成26年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

(質問日：平成26年6月18日)

(代表・一般)

部(局・庁)・課(室)名 健康福祉部 高齢者福祉課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>3. 社会保障について</p> <p>(1) 介護保険について</p> <p>エ 千葉県でも特別養護老人ホームに入れな待機者は、1万9千人にものぼっています。しかし、今年度作っているのは、2千500人程度で全く足りません。</p> <p>そもそも県の目標が実態とかけ離れているのに、その低すぎる目標すら達成できていません。県の特養ホーム建設の遅れについてどう認識しているのか。</p>	<p>1 県では、平成21年度から、特別養護老人ホームの1床あたりの補助単価を全国トップクラスの400万円として、積極的に整備を促進してきました。</p> <p>2 その結果、平成26年度末までに、約23,000床が開所する見込みであり、今後とも入所が必要な方が一人でも多く特別養護老人ホームを利用できるよう、着実に整備を進めてまいります。</p>	<p>健康福祉部長 中岡 靖</p>

平成26年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成26年6月18日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 健康福祉部 障害福祉課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>3. 社会保障について</p> <p>(2) 医療について</p> <p>ア 知事は、重度障害者医療費助成制度について、来年8月から実施し、自己負担を通院1回、入院1日あたり300円を徴収すると述べたが、新たな自己負担の導入はやめ、窓口完全無料化を実施すべきだと思うがどうか。</p>	<p>1 本制度の現物給付化の実現に向け、これまでに複数回にわたり市町村、さらには関係団体とも協議を重ねてまいりました。</p> <p>2 これらの協議結果を踏まえ、自己負担については、制度対象外の方との公平性の観点から、子ども医療費助成制度と同様に一定の負担を求めることとし、負担額は、同制度と同じく、低所得者を除き、通院1回、入院1日につき300円と考えております。</p>	<p>健康福祉部長 中岡 靖</p>

平成26年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成26年6月18日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 健康福祉部 障害福祉課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>3. 社会保障について</p> <p>(2) 医療について</p> <p>イ 65歳以上の後期高齢者医療制度対象者で、新たに重度障害者になった人は制度が適用されなくなるが、今までなら受けられていたはずの人が受けられないなど、制度を狭めるようなこともやめるべきだと思うがどうか。</p>	<p>1 今回の制度改正に係る市町村等との協議結果を踏まえ、また、他県の取組も参考にして、今回の改正にあたり、国の高齢者医療制度との整合を図ることとしました。</p> <p>2 その結果、制度の見直し以降に65歳以上で新たに重度障害となった方については、県の障害者医療制度ではなく、国の高齢者医療制度で対応したいと考えております。</p>	<p>健康福祉部長 中岡 靖</p>

平成26年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成26年6月18日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 健康福祉部 健康福祉政策課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>3. 社会保障について</p> <p>(2) 医療について</p> <p>ウ 地域医療を疲弊させた県立病院再編計画は廃止し、来年度策定される予定の新たな医療計画では、すべての県立病院の存続と充実を進めるべきと思うがどうか。</p>	<p>1 県立病院の将来方向については、現在の千葉県保健医療計画において、医療圏内で完結することができない高度専門的な医療について、全県及び複数圏域を対象とした医療機能を担っていくことを基本としています。</p> <p>2 一方で、これまで県立病院が担ってきた地域医療については、新たな医療提供体制が整うまでは、その水準が後退しないよう十分配慮するとしているところです。</p> <p>3 今後の県立病院のあり方については、次期保健医療計画を策定する中で、市町村や千葉県医療審議会等の意見も伺いながら検討してまいります。</p>	<p>保健医療担当 部長 古元 重和</p>

平成26年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

(質問日：平成26年6月18日)

(代表・一般)

部(局・庁)・課(室)名 健康福祉部医療整備課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答弁要旨	答弁者
<p>3. 社会保障について</p> <p>(2) 医療について</p> <p>エ 県として、看護師養成校の定員を抜本的に増やすとともに、看護師修学資金貸付制度の増額と貸付枠の大幅な拡大を判断すべきと考えるがどうか。</p>	<p>1 看護師養成校の定員増を図ることは、看護師確保上、重要な課題の一つと考えております。</p> <p>2 このため、県では、自治体や民間の養成校を対象に、新設や定員増に必要な整備費への支援を行っており、この3年間で1学年定員が405名増員したところです。</p> <p>3 また、修学資金については、県内医療機関への就業を図る上で有効な事業であることから、本年度から、新たに県外の看護学校に在学する本県出身者等も貸付対象としたところです。</p> <p>修学資金の貸付枠や貸付額の一層の拡大につきましては、他県の状況等も踏まえながら、今後検討してまいります。</p>	<p>保健医療担当 部長 古元 重和</p>